

# 再生

師友道友の活動を綴る善行伝承誌

如何にささやかな事でもよい。

とにかく人間は他人のために尽くすことによって、  
はじめて自他共に幸せとなる。これだけは確かです。

森信三先生一語千鈞より

第0067号

2022. 3月号

令和四年

実践人福岡仁風読書会

再生の題字（森迪彦様提供）は、森信三先生の直筆です。



# 現代における孝の哲理

森 信三先生 講述

— マナコを閉じて親の祈り心を —

## 十五 孝はついに自己超克の一路

### 東・西倫理の基礎

そこで最後に問題となるのは、ではどのように、たった一人の親を根本とする考え方は、今日の道徳観としては狭いものではあるまいか—という疑問が当然に起きることでしょう。この点については、なるほど孝という道徳は、たしかに一人の親がその契機となっていることは確かにその通りです。しかし、孝はそのようにたった一人の人間を対象としながらも、それによって、実は「己我」が否定せられる点に、孝が真の道徳たり得るゆえんがあるのであります。そしてこの点は、かの遊牧生活に端を発した人間の横の社会関係を基盤として成立した西洋の倫理は、横の關係に即して「己我」を起克すべきを説くものであって、その最上とせられるものは、実に「友のために自己を捧げる(死)にある」とせられるゆえんであります。この様に西と東によって、古来「己我」を超える契機とせられるものに相違はありますが、しかし何れにしても「己我」を超えなければ真の倫理即ち道徳とはいえないのであります。しかもこの「己我」超克の契機となるのが、西洋にあっては「友愛」であるに対して、われらにあっては「孝」の倫理だったわけでありませう。

然るに今や人類も近く「廿一世紀」を迎えようとして、東西の文化は互に歩み寄ろうとしつつあるのは、今さら申すまでもないことであります。といたしますと、西の倫理としての「ヒューマニズム」と、東の倫理の中

## 実践人福岡仁風読書会 第62回 2月5日(土)

場所:福岡市博多区大井2丁目 大井中央公園にて

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます。)

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。

核だった「孝」の倫理とは、今や互に歩み寄るべきであり、さらには両者は互いに切り結び、さらには一つの溶融すべき歩みが踏み出される時代が、徐々に始まりつつあるのではないのでしょうか。然るに戦後のわが国は敗戦の結果、ともすれば彼の地の文化を絶対化して、それを移し植えるべき自らの土壌を、全然省みないで来たのが、戦後三十余年の我れらの歩みではなかったでしょうか。それ故そこに欠けているものは、これを一言で申せば、人類史への大観であり、同時に民族自身の永い歴史の歩みへの反省であります。しかしながら、今やわが国の社会生活が西欧文明によって甚大な影響も受けつつある以上、「孝」がいかに民族生命をタテに貫いてきたいのちの根本真理だったにしても、その組み合わせるべきヨコの糸の組織を考える時、そこに生み出されるのは、この現代という時代に即する「孝」の倫理の新たな展開でなければならぬわけで、その時それは新たな「創造」というに値いすると申せましょう。

しかしこれは、いわば人類史的な大観の立場から申すことでありまして、現実の個人々人としては、現在実に深刻な相剋の状況を通過せしめられつつあるわけでありまして、そうした点ではわが国の現状はその最も深刻な典型的な場合として、いわばその激動の渦中にあるとも申してもよいでしょう。

## 観音様

幸に、教え子たちはそれぞれ相励まし合いながら、或は村の中堅となり、或は外に出て活躍している喜びのかけに、既に四十六名が此の世の人ではなくなった。

中村喜代刀君が第一番だった。愉快な子であったのに小学校も終わらずに病気で亡くなった。上野さんは高等の時だった。久刀君は卒業してからだ。松沢君は青年学校教師となつてからだ。

こうして病気で斃れた人もあつたが、物故者の大部分は傷ましくも戦死者である。特攻機に乗って太平洋上に散つていった行武の両君、ガ島で玉砕して兄弟揃って白木の箱で帰った正君、そのほか、海に陸に空に勇々しくも祖国のために散つていった英霊の数々。お参りすると、たいていの母親は私の前に泣き崩れて、学校時代の思い出を、子どもの時の習字など引出してきて語られるのである。親の愛情の深さをその度に知らされ、教師たる者の勤めは何であろうかと考えさせられた。生前、無法な叱り方をしなかつたであろうか。間違つた教え方をしなかつたであろうか。勤むべきことを怠つたことはなからうか。それでも君たちは私を慕つてくれた。母親さえもなつかしがられる。せめて慰霊祭の一ぺんぐらいはしてあげて、同窓の諸君と心からお参りしたいと思ひながら、まだ、それも果たさずに居る私である。

私が無事、三十七年を務め終えたのも、君たちの御加護と同窓の諸君の援助があつたからである。校区の方々やPTAから、記念品料御饞別、同窓諸君のわざわざ慰労のために聞いて下さった同窓会の時の御芳志を基にして、最後の記念品は、この物故者を弔うために、観音様を祭ろうと思つた。

こうした意味で作るからには、心のこもつたものでなければならぬ。それには、是非共、富永朝堂先生にお願いしたい。それにし

ても先生は日展審査員の今を時めく大家で、私ごときでお願いできるか、どうか。私も斎田さんの紹介で度々お目にかかつて、何か作つてやろうとおっしゃつたことはある。それにしても今度のは我が儘がすぎるのではないかと心配したが、平山会長さん、斎田さん、教頭先生の心からのお願いで御快諾を得た。

先生は製作に当つて特に香を焚きこめ、白布をあてて専念し続けられたそうである。お顔だけであるが、そのお顔は、教え子の幼い姿を偲んで、ふっくらとした童顔を取り入れていただいている。澄みに澄んだ無限の慈愛をたたえたまなざし、つつましくほほえみかける口元、聞けば快心の作とかで、最初から気分よく次々と快調に出きていったそうである。しかも、洋行帰りの第一号の作品で旧来の仏のお顔に加うるに近代感覚を盛りこまれたということで、昭和時代の代表作として尊ばれる時が来るかも知れないとおっしゃつた。

これからは、朝夕、この観音菩薩にお仕えし、観音様の心を心として、この教え子の物故者と、私を育てて下さつた慈愛深い父母の霊を、いささかでも弔いながら、更に私を取り巻いて活躍を続けている未来多き同行衆と、我が子我が孫の幸福を念じ、小学校長の余生をできるだけ誤りの少ないように生きて行きたいと思う。

南無観世音菩薩 終

## 第44回 福岡空港ミليون清掃 2月5日(土曜日) 7名参加



今日は風が強く、雪もちらつく真っ暗な中、お掃除が始まりました。寒くて嫌になりそうでしたが、ゴミ拾いをしていると夢中になり、いつの間にか体も段々と温まり、終わる頃には「今日も皆さんとお掃除できて良かったなあ」ととても清々しい気持ちになっていました。

今日は以前ゴミ拾いをしていた場所まで行きましたが、ゴミが多くて拾い甲斐がありました。定期的今日この場所はまたしたいと思いました。

MEGUMI

本日は極端に寒く、おかげさまで感じるものが多かったです。寒いけど、動けば温くなる。動かないから寒いのか！暗くて、確かにあるはずのゴミが見えない。明かりって有り難いな！最後まで手は冷たかった。

温かい飲み物は最高でした！

人と同じ時間を共有すると元気になりますね。

本日もありがとうございました。

TSURUGA

雪も降っておりとても寒い日でしたが、時間になると集まって掃除を始める皆さまの姿に心強さを感じます。

自分一人ではなかなか出来ないことでも、一緒にやればできるといこともお掃除では学べると思います。

私たちの活動も全国のお掃除仲間の皆さまの支えとなっていれば幸いです。

HIROMITSU

途中から沢山のゴミを集められた袈裟右衛門さんの大きなゴミ袋を持ってゴミを拾いました。袋はビニール一枚です。まだ折り返しにも来てない、これが途中で破けたらえらいこっちゃ！と思いました。ゴミを拾う時も袋をそっと置きます。ゴミを入れる時も破らないようにと。

この先私が何か大きな責任を担った時、自分に襲ってくる不安を学ばせてもらえました。これを受け容れる器を準備しないと！！と感じました。

TAHARA



今日はまた一段と寒さが身に染みる朝でした。改めて気づかされたのは、灯りの大事さです。まだ夜明け前だと暗くて落ちてるゴミも見えないくらいでした。昼間の明るさや、電気で見えるのが当たり前で生活してて、当然の事を忘れておりました。その点、ちゃんと灯りを用意されてる方の予測と準備は流石だなあと勉強になりました。ゴミ拾いも終わる頃には、あんなに寒かったのに、ポカポカして、更に終わった後の温かいコーヒーが美味しくて、何よりのご馳走でした。

皆様今日も良い経験させて頂き、ありがとうございました。

SAEKI

## 第60回 福岡実践人仁風読書会 2月5日(土曜日) 7名参加

知識をたくさん身に付けても、それを材料として知恵にまで昇華することが重要だと学ばせていただきました。

物事を学ぶにしても、ただ受け入れるだけでなく、自ら判断や批判をしながら主体的に考え行動していこうと思います。

HIROMITSU

見通しを立てることと実践の大切さを感じました。私はこうしたらより良いかなあと考えが浮かんでも実行に移していることは少ないのではないかと思います。実行の秘訣は覚悟とのことです。決めて実行するという習慣を身につけていこうと思いました。

MEGUMI

調度今の自分に必要な言葉でした。

知る、考える、行動する。

過去も未来も含めて、今に、責任とか覚悟とか強い思いを感じました。いくつかザワザワする箇所があり、心が反応しました。すべて分かったわけではありませんが、実践を繰り返し、また読み返したいと思います。

それにしても森信三先生は、こんなに難しいテーマをできるだけわかりやすい言葉と例えて説明してくださって、すごく優しさを感じました。

TSURUGA



いつもは皆さんと一緒に読ませて頂いて、その場で直接感想が聞けるので、今日は少し寂しい気持ちですが、感想です。結果こそ現実であるというのは、正に刺さる言葉でした。色々職場でも施策を打っていますが、結果が伴わないと、結局は独り善がりになってしまう事も。見通しの難しさはありますが、ともすれば思考だけで終わってしまう事も多いので、出来る失敗は早めに多くして、経験として次に活かしていきたいと、改めて考えました。

SAEKI

難しい文章に何回も読み直し、理解に苦しみました。

「覚悟」これが自分の人生を満足させる起点になると感じました。一度きりの人生をどう生きたいのか？覚悟が全ての原動力になる。

～やさいで人々を幸せにする～上手く行かないことばかりで根を上げそうですが、覚悟を持って進みます！

TAHARA



「福岡清爽クラブ」  
LINE公式アカウントはじめました！

お掃除の様子や活動予定などを配信させていただきます！

よろしければ  
QRコードからご登録  
お願い致します。



日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第339回  
**博多駅 早朝清掃**

毎月**8**日 午前6時15分～

【第一回】平成5年12月8日開催

福岡実践人・JR九州博多駅  
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

 **ハウスメイト**



第339回 博多駅早朝清掃

29年目・・・

2月8日(火曜日)

66名参加

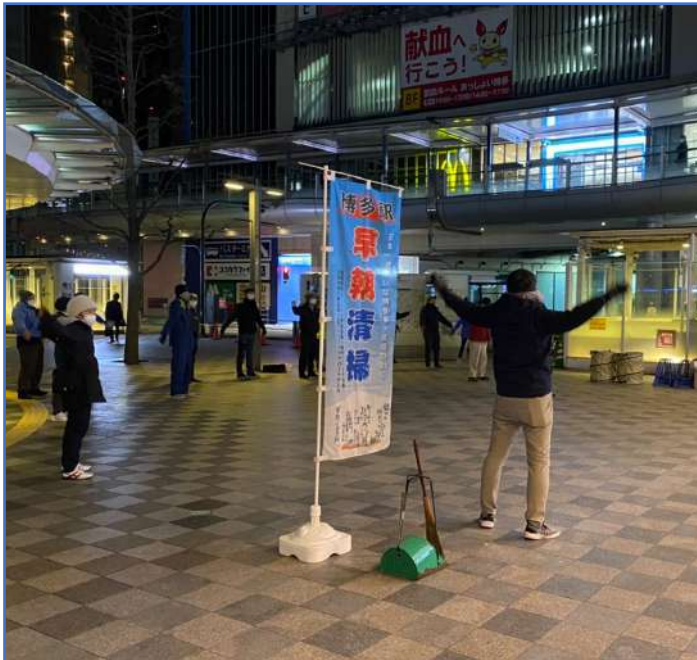


博多駅をぐるっと一周しましたが、ゴミがとても少ないと感じました。29年やり続けてきたからこそなのだろうと思います。

人はいつも見ているものに心が似てくると言われます。福岡に来てもうすぐ1年になりますが、福岡の人が親切で穏やかなのは博多駅が綺麗だからなのかなと思いました。

知らず知らずの内に環境の影響を受けていると思うので、お掃除は勿論、自分の身の回りもいつも綺麗に保つことが大切だと感じました。

MEGUMI



初参加のお子様



博多駅 副駅長



# 耕作放棄地再生と清爽活動in酒殿2020.12.29~

2月12日(土曜日)



女性3人とテンションアゲアゲ袈裟右衛門さんの楽しい雰囲気の中、寡黙な私は床のタイルを磨かせて頂きました。

タイル1つひとつは小さな正方形です。今までは辺に対して平行・垂直に磨いてきましたが、ふと思いつき今日は斜めに磨いてみました。

意外と効果がありました。

自分の中の無意識を意識してみると、もっと沢山の気づきに出会えると感じた一日の始まりでした。

ありがとうございました！

TAHARA

今日は小便器を磨かせていただきました。汚れが溜まっている箇所があり、今日はそこだけを集中して行いました。

しかし、時間内には汚れを落とし切れず、自分としては悔しい結果になりました。

もっと良い磨き方があったかもしれません。汚れを落とせるように次回は工夫して挑みたいと思います。

HIROMITSU





# 冷泉公園早朝清掃

2月19日(土曜日) 第124回(再開)



天気は雨でしたが、小学生も参加してくださり、とても明るい気持ちで参加させていただきました。元気いっぱいトイレ掃除をしている姿にこちらがとても元気をいただきました。雨が降る中でしたが、トイレを磨き、気持ちは晴れ晴れ。  
終わった後は、木の下でおにぎりとお味噌汁をいただきました。寒い中の温かい一杯が身体に染み渡りました。

MEGUMI



# 令和を巡る早朝清掃／戒壇院 2020.1.25～

2月26日(土曜日) 第26回



今朝は戒壇院さんのお掃除をさせていただきました。寒さで指先が痛む程冷え込みましたが、皆で落ち葉掃きを行いました。

一見、落ち葉は落ちていないように見えたが、やりだすと意外とたくさん集まります！

目立つ落ち葉を掃いて綺麗になればなる程、より小さな落ち葉が目に入るようになる感覚は不思議でした。

やればやる程見えてくるし、気付いてくるのですね！

徹底すると気づきが深まります。

HIROMITSU



# 生命の林と人生 六四、日本人の心と感性

022-3

光然京カルデラ

「楽園」とは古今東西を問わず、太陽の光のもとで、樹々が繁り花咲き、鳥が歌う世界のことである。人間もまたその自然の一員として他の生きとし生くるものたちと自然の恵みを分かち合って暮らすべきなのである。それこそが豊かな暮らしなのだと言うことを現代人は再学習すべきなのだ。あらゆる生命の源である太陽を取り戻さなければならぬときにきているのである。

地球上に何千年も変わることなく偏西風が吹き続けていることは周知である。日本の場合、北半球の中緯度偏西風がほぼ定期的に卓越して吹く。高気圧や低気圧も西から日本に向かって進んでくる。天気が西から崩れたり回復したりするのは偏西風のためで、巨大な流黒潮もまた西から東へと流れ日本列島に沿って東北に進む。

こうした自然の摂理に従って、多くの植物や動物、さらに人間までもが風に乗って、海を流れて西から東へと移動し、日本列島に辿り着いたに違いない。日本は北半球の東果てにある国であり、その地理的条件によって大古から様々な文化が主に西方からもたらされてはじまった。日本人は労せずしてこれらの自然条件を基盤として育まれたものといえるのである。

私達日本人は恵まれた自然の中で歴史を作り文化を育んできた。「花鳥風月」という言葉で代表される四季折々の美しい自然のただずまいと詩歌に読み物語に描き、絵画に写し彫刻に彫り、工芸品の意匠としてきた。

いづどんな花が咲き、鳥が鳴き、虫がすだつか、ほとんどの人が知っている。四季の草花の名や由来、鳥の鳴き音や習性、また鳥名や鳴き方にまつわる伝説、樹木の性質や森や林の大きいなる恵みを自然との共生の中で文化を育んだ日本人は、おそらく誰もが知っていたのだ。つい百年前までは、である。

山、川、一木一草にも1 神が宿ると言う思想は、大古から自然と共生してきた日本人が生んだ貴重な未来への遺産のはずだ。

自然との共生を忘れた現代人に対してー 今からでも遅くない、一刻も早く自然破壊をやめることだ。

日本人の心と感性より 高橋千劔破  
二〇一八年 手帳に記す

二〇二二年二月二〇日  
広葉の林を育てる会 興膳丈治





	3月の活動予定表							4月の活動予定表						
日	5	5	8	12	19	20	26	2	2	8	9	16	23	30
曜	土	土	火	土	土	日	土	土	土	火	土	土	土	土
行事活動名	福岡空港ミリオン清掃 第45回	福岡実践人仁風読書会 63回	博多駅早朝清掃 第340回	JR酒殿駅早朝清掃 第15回	冷泉公園早朝清掃 第125回	大阪天満宮街頭清掃	令和を巡る早朝清掃 第27回	福岡空港ミリオン清掃 第46回	福岡実践人仁風読書会 64回	博多駅早朝清掃 第341回	JR酒殿駅早朝清掃 第16回	冷泉公園早朝清掃 第126回	住吉神社便教会	令和を巡る早朝清掃 第28回
場所	福岡空港 周辺一万m	大井中央公園	博多駅博多口	JR香椎線 酒殿駅北口	博多区冷泉公園	大阪市北区 大阪天満宮	福岡県太宰府市 戒壇院	福岡空港 周辺一万m	大井中央公園	博多駅博多口	JR香椎線 酒殿駅北口	博多区冷泉公園	博多区住吉神社	福岡県太宰府市 戒壇院
開始時刻	6時	7時	6時15分	6時30分	6時30分	7時	6時30分	6時	7時	6時15分	6時30分	6時30分	6時30分	6時30分
運営団体	福岡清爽クラブ	福岡実践人	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽交	株式会社SRC	大阪掃除に学ぶ会	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ	福岡実践人	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 楽農人耕作放棄地再生楽交	株式会社SRC	太志塾	福岡清爽クラブ

※「磨心隊」浄水現場清掃(トイレ磨き)  
3月12日(土)より毎週土曜日 9時30分～11時 中央区GM浄水

楽農人遊休農地再生楽交の活動予定は<https://www.rakunoujin.com/>を確認下さい。

編集人：井 恵 補佐：井 啓充

- ◇NPO法人福岡実践人 福岡清爽クラブ
- ◇一般社団法人 実践人の家 福岡仁風読書会
- ◇NPO法人 楽農人 耕作放棄地再生支援楽交

〈合同事務局〉 〒811-2247

福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 《仁風庵》  
TEL 092-931-8155 (掃除) 931-8150 (読書) FAX 092-931-8120  
E-mail fukusoukai@souji.link (掃除)  
kesa@rakunoujin.com (農業)



「再生」に掲載している写真は、富吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。